



建築技術性能証明書

技術名称：SC 杭パイルスタッド工法
ースタッド鉄筋を用いた外殻鋼管付き既製コンクリート杭の杭頭接合技術ー

申込者：日本スタッドウェルディング株式会社 取締役社長 三好 榮二
神奈川県川崎市川崎区小田一丁目2番6号

技術概要：本技術は、外殻鋼管付き既製コンクリート杭（SC 杭）の頭部に取り付けた杭径より大きな外径を有する拡幅端板の適切な位置に、溶接性に優れた異形棒鋼（パイルスタッド鉄筋）を有資格者がスタッド溶接することにより、杭と基礎スラブとを接合する技術である。

開発趣旨：従来の杭頭接合法に比べて優れた施工品質の確保、工期の短縮を図りながら、パイルスタッド鉄筋の短期許容応力度以下の範囲内において、杭頭部に作用する力を確実に杭体に伝達できる杭頭接合部を施工する技術の確立を目的として開発を行った。

当法人の建築技術認証・証明事業 業務規程に基づき、上記の性能証明対象技術の性能について、下記の通り証明する。

平成24年12月12日

一般財団法人
理事長



記

証明方法：申込者より提出された下記の資料により性能証明を行った。

資料1：SC 杭パイルスタッド工法 性能証明のための説明資料

資料2：SC 杭パイルスタッド工法 設計・施工マニュアル

資料1には、本工法の目標性能達成の妥当性を確認した説明資料がまとめられている。

資料2には、本工法に用いるパイルスタッドの仕様と配筋規定、施工マニュアルなどが示されている。

証明内容：申込者が提案する「SC 杭パイルスタッド工法 設計・施工マニュアル」に基づいて、拡幅端板の適切な位置に接合されたパイルスタッド鉄筋は、長期および短期荷重時の杭頭接合部の検討において、同マニュアルで規定される許容応力度を採用できる。

建築技術性能認証委員会委員

委員長	松井千秋	九州大学	名誉教授
副委員長	富永晃司	広島大学	名誉教授
”	森野捷輔	三重大学	名誉教授
委員	荒木秀夫	広島工業大学工学部建築工学科	教授
”	伊藤淳志	関西大学環境都市工学部建築学科	准教授
”	大島昭彦	大阪市立大学大学院工学研究科	教授
”	大野義照	大阪大学	名誉教授
”	金子佳生	京都大学大学院工学研究科	教授
”	壁谷澤寿海	東京大学地震研究所	教授
”	河野昭彦	九州大学大学院人間環境学研究院	教授
”	桑原進	大阪大学大学院工学研究科	准教授
”	甲津功夫	大阪大学	名誉教授
”	小林克巳	福井大学大学院工学研究科	教授
”	菅野俊介	広島大学	名誉教授
”	鈴木祥之	立命館大学立命館グローバル・イノベーション研究機構	教授
”	田才晃	横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院	教授
”	田中喙義	京都大学	名誉教授
”	田中剛	神戸大学大学院工学研究科	教授
”	田中仁史	京都大学防災研究所	教授
”	勅使川原正臣	名古屋大学大学院環境学研究科	教授
”	中塚 侑	大阪工業大学	特任教授
”	榎田佳寛	宇都宮大学大学院工学研究科	教授
”	松尾雅夫	一般社団法人日本建築構造技術者協会	
”	三谷 勲	神戸大学	名誉教授
”	山崎雅弘	岡山理科大学工学部建築学科	教授
”	井上一朗	(一財)日本建築総合試験所	副理事長
”	角 彰	(一財)日本建築総合試験所 建築確認評定センター	審議役
”	下平祐司	(一財)日本建築総合試験所 建築確認評定センター	部長
”	永山 勝	(一財)日本建築総合試験所 試験研究センター	部長

SC杭パイルスタッド工法

—スタッド鉄筋を用いた外殻鋼管付き既製コンクリート杭の杭頭接合技術—

評価専門委員会委員

主査	田中剛	神戸大学大学院工学研究科	教授
委員	桑原進	大阪大学大学院工学研究科	准教授